

○議長（茅沼隆文）

次に、日程第5 議案第18号 平成27年度開成町下水道事業特別会計補正予算（第4号）を議題といたします。

予算書の説明を担当課長に求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

では、議案の朗読をさせていただきます。

議案第18号 平成27年度開成町下水道事業特別会計補正予算（第4号）。

平成27年度開成町の下水道事業特別会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第1条、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2,890万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6億1,589万4,000円とする。第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

地方債補正。

第2条、地方自治法第230条第2項の規定による地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

平成28年3月4日提出、開成町長、府川裕一。

今回の補正の理由ですが、歳入につきましては、工業系の排水量が当初見込みより多くなったことによる下水道使用料の増額と、国庫補助金の確定による社会資本整備総合交付金の減額、並びに一般会計の繰入金、町債の減額を行うものです。歳出につきましては、消費税及び地方消費税の増額と国庫請負費の入札差金等による減額、流域下水道負担金の減額を行うものです。

それでは、2ページをお願いします。

第1表、歳入歳出予算補正の歳入です。2款使用料及び手数料から7款町債まで、補正額2,890万円の減額、補正後の歳入合計6億1,589万4,000円です。歳出は、1款総務費から5款予備費まで、補正額2,890万円の減額、補正後の歳出合計は同じく6億1,589万4,000円です。

次の4ページをお願いします。

第2表、地方債補正です。起債の目的、公共下水道事業、限度額、補正前8,400万円、補正後5,940万円で2,460万円の減額です。流域下水道事業、限度額、補正前1,230万円、補正後1,200万円で30万円の減額です。合計、補正前9,630万円、補正後7,140万円で2,490万円の減額です。起債の方法、利率、償還の方法は記載のとおりです。

次に、10ページ、11ページをお願いします。

事項別説明書でご説明いたします。

2の歳入です。2款使用料及び手数料、1項使用料、1目下水道使用料、説明欄、下水道使用料2,000万円の増額は、工業系の排水量が当初見込みより増えたためでございます。

3款国庫支出金、1項国庫補助金、1目下水道事業費国庫補助金、説明欄、社会資本整備総合交付金700万円の減額は、国庫補助額が確定したことによる減額でございます。

4款繰入金、1項他会計繰入金、1目一般会計繰入金1,700万円の減額は、歳出の減により減額するものでございます。

7款町債、1項町債、1目下水道事業債、説明欄、公共下水道事業債2,460万円の減額は、起債対象工事の執行減による減額でございます。

流域下水道事業債30万円の減額は、流域下水道負担金の減額による減額でございます。

次の12、13ページをお願いします。

3の歳出です。1款総務費、1項下水道総務費、1目一般管理費、説明欄、消費税及び地方消費税223万8,000円の増額は、平成26年度の消費税及び地方消費税の確定による平成27年度の消費税及び地方消費税の2回目の中間払いを3月末に支払うためでございます。

2款事業費、1項下水道事業費、1目公共下水道事業費、説明欄、国庫補助対象事業工事費2,400万円の減額及び町単独事業工事費1,000万円の減額は、国庫補助減額に伴う事業の縮減と入札差金による減額でございます。

3款流域下水道費、1項流域下水道費、1目流域下水道費、説明欄、流域下水道事業建設費負担金35万6,000円の減額、及び流域下水道事業維持管理費負担金577万2,000円の減額は、酒匂川流域下水道処理場の建設費及び維持管理費の入札差金に伴う負担金の減額です。

4款公債費、1項公債費、2目利子、説明欄、償還利子100万円の減は、平成26年度借入れ分の利子の利率が確定したため減額するものでございます。

次の14ページ、15ページをお願いします。

5款予備費、1項予備費、1目予備費、補正額999万円は、予備費に計上するものでございます。

次の16ページをお願いいたします。

地方債の前々年度末及び前年度末における現在高、並びに当該年度末における現在高の見込に関する調書です。区分欄の(1)公共下水道から(4)補償金免除繰上償還借換債まで、記載のとおりです。表右の補正後の額の当該年度末現在高見込は、普通債総額で27億7,922万4,000円となります。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。

質疑をどうぞ。

2番、山田議員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。

10ページ、11ページの歳入、1、下水道使用料について質問したいと思います。今回、補正額で2,000万という大きな補正が出ているというところで、恐らく工業系の使用料が増えたためというよりも、接続か何かがされたのですか。ここで特定の工場を言うとあれなので、そこら辺の説明をもうちょっと詳しくお願いします。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

使用料の増額につきましては、大きく、今、4事業の工業系の接続がありまして、そちらの下水道の使用料が増えたということで、新規の接続の増加というものは、そう大きく影響はされていないというふうに。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

山田議員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。

新規の部分は大きく影響がないという意味だと思うのですが、ということは、今まで1社、工業系で接続していないところは、まだ接続していないということで、この2,000万というのは、あくまでも4社の水の使用量の変動によって、こんなにも変わるのですか。そこら辺の分析、どういう形態で増えたのか。ある意味、生産が増えたため水の使用量が増えたのか、そこら辺、説明をお願いします。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

増えた中での分析としましては、各工場でリサイクルした水の量というものをかなり増やしていたというものがありまして、工業系の排水というのが横ばい、もしくは下がっていましたが、今年度に限っては、そういうリサイクルの水というものを少し減少させて、くみ上げた水をそのまま下水道のほうに放流しているという実情がありまして、下水道の放流量が多くなったというふうに聞いております。

○議長（茅沼隆文）

山田議員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。

リサイクルのほうをしないで、そのまま放流していると、しないでというのは、何か問題があったのですか。そこら辺までは聞いているのか聞いていないのか、あれなのですけれども、お願いします。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

詳しい内容等は、私たちの方も聞いていません。

○議長（茅沼隆文）

11番、菊川議員。

○11番（菊川敬人）

11番、菊川です。

今の質問に関連して、またお伺いいたします。2,000万円、下水道使用料が増えたということであります。リサイクルをやめて、その分を排水したというようなことの説明もありましたが、これが全てではないのではないかなと思いますが、ここで排出する量は井水を使用されているところなののでしょうか、それとも上水を使っておられるのでしょうか。というのは、後に出てくる水道事業にも関係してくると思いますので、上水であれば水道の方も当然増えてくると思うのですが、使用されている工業水は何を使用されているか、ご存じでしょうか。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

工業系につきましては、主に工場で使われる水につきましては、井戸水をくみ上げた水を使っております。

○議長（茅沼隆文）

ほかに質疑はございませんか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

質問がないようですので、討論に入ります。

討論はありますか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

討論もないようですので、採決を行います。

議案第18号 平成27年度開成町下水道事業特別会計補正予算（第4号）について、原案に賛成の方の起立を求めます。

（起立全員）

○議長（茅沼隆文）

起立全員によって可決いたしました。